

令和元年度第2回（第26回）  
魚沼市地域公共交通協議会（書面協議）結果

1. 通知日  
令和元年9月26日
2. 協議方法  
書面による協議
3. 回答期限  
令和元年10月4日（金）
4. 報告事項  
資料1 地域の移動手段確保支援事業の取組状況（評価）について（報告）
5. 協議事項  
資料2 実証運行終了後の本格運行について（協議）
6. 協議結果  
下記の協議状況のとおり、会議出席委員の過半数の承認を得たため、協議会規約第12条第4項により、本議案については原案のとおり承認されました。

《協議状況》

「4. 報告事項」及び「5. 協議事項」について

回答数：24名／24名（会長を除く委員）

「承認する」と回答した委員数：24名

## 地域の移動手段確保支援事業の取組状況（評価）について（報告）

### 1. 取組状況（評価）の目的

魚沼市中心部と郊外を結ぶ穴沢線及び栃尾又線は、利用者数が年々減少しており、利用者の増加によって持続可能な路線への転換を図るため、通学・通勤の新たな需要開拓によって、利用者の拡大を図っていくことが必要となっています。そこで、JR小出駅から両系統への乗り継ぎの利便性を向上させることで、自家用車送迎等からの転移がどの程度すすめられるのかを調査するため、実証運行を行いました。

協議会において、この取組結果について評価を行い、実証運行終了後の本格運行について検証することを目的とします。

### 2. 取組の目標・計画の説明

#### 1) 目標及び取組概要

・持続可能な路線への転換を図るため、JR小出駅から路線バスへ乗り換える新たな需要開拓を行う。既存系統である穴沢線及び栃尾又線を各1便増発することで、自家用車送迎等からの転移が、どの程度すすめられるかの調査を行いました。

取組（路線等）	内 容	実施時期	目 標
小出一穴沢線の改編	○実証運行 小出駅前発 21時15分	H31.4～ R元.9	平均乗車人数 5.0人/便
小出一栃尾又線の改編	○実証運行 小出駅前発 19時35分	H31.4～ R元.9	平均乗車人数 5.0人/便

#### 2) 取組に必要な事業費（見込）

取組 （路線等）	総事業費 （うち補助対象経費）	県補助	市負担
小出一穴沢線の改編	1,458千円	729千円	729千円
小出一栃尾又線の改編	1,140千円	570千円	570千円
合 計	2,598千円	1,299千円	1,299千円

### 3. 事業評価

#### 1) 事業実施の適切性

・実証運行は、計画通りに実施（予定）された一方で、利用者については、まとまった新規開拓に至らず、目標通りに実施することができませんでした。

#### 2) 目標効果達成状況

(表1)

取組（路線等）	目標	実績(見込)	達成率(見込)
小出一穴沢線の改編	平均乗車人数 5.0人/便	平均乗車人数 0.7人/便	14.0%
小出一栃尾又線の改編	平均乗車人数 5.0人/便	平均乗車人数 1.8人/便	36.0%

## 《説明》

- ・表1について、路線系統、平均乗車人数の目標及び実績（見込）並びに達成率（見込）毎に、記載しました。
- ・目標の設定については、年々低下傾向にある平均乗車密度を押し上げ、持続可能な路線への転換を図るために必要な平均乗車人数の目安として5.0人/便としました。
- ・実績(見込)については、1便当たりの平均乗車人数の目標が5.0人に対して、穴沢線0.7人/便（達成率14.0%）、栃尾又線1.8人/便（達成率36.0%）となり、自家用車送迎等から路線バス利用への転移が、期待通りにすすみませんでした。
- ・小出駅から移動するまとまった需要が存在するものの、JR只見線定期利用者にとっては、バス運賃負担が新たに発生することや、下車したバス停からの交通手段が無いことなど、利用者が求める利便性やライフスタイルにマッチしなかったため、まとまった定期利用の新規開拓に結びつかなかったと思われます。

## 実証運行終了後の本格運行について（協議）

### 1. 令和2年度からの本格運行について

本市は、資料1の実証運行の結果等を踏まえ、両系統における令和2年度からの本格運行（2便増）について検証した結果、持続可能な路線への転換へと結びつけることが困難であると判断しました。